

令和4年(2022年)8月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2022年8月 数量 (トン)	2022年8月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	人参	北海道産中心の入荷でした。中旬以降の降雨の影響もあり、数量はやや減少しました。平均単価はやや高く推移しました。	519	155	93%	109%
2		キャベツ	群馬県産を中心に山梨県産、北海道産、長野県産の入荷となりました。数量は減少し、平均単価も安く推移しました。	792	65	86%	83%
3		トマト	曇天が続いた影響で、数量はやや減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	617	398	96%	134%
4		なす	群馬県産、栃木県産、福島県産、山梨県産中心の入荷でした。数量はやや減少しました。平均単価は安く推移しました。	124	310	93%	87%
5		たまねぎ	北海道産、兵庫県産、和歌山県産中心の入荷でした。数量は減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	499	145	82%	145%
6	果実	西瓜	主力である三浦市を中心とした県内産地の入荷が順調で、数量はかなり増加しました。平均単価は安く推移しました。	335	217	141%	87%
7		もも	山梨県産、福島県産、山形県産中心の入荷でした。数量は前年並みで推移しました。平均単価はやや安く推移しました。	209	550	101%	91%
8		なし	数量は減少しました。平均単価はやや安く推移しました。	332	462	83%	93%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+-)0~2%
- ②やや増加(減少):(+-)3~10%
- ③増加(減少):(+-)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+-)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+-)51%以上